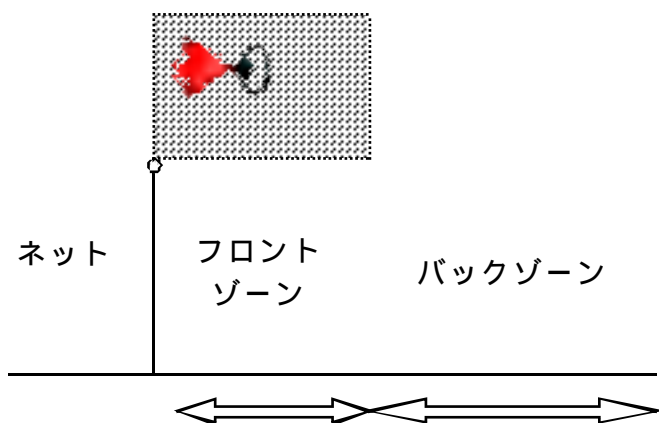


岡山県インディアカ協会競技規則の抜粋

1. ネットの高さ
男子の部：2.15 M
女子の部：2.00 M
混合の部：2.00 M
2. チームの構成
1 チーム 8 名（交代要員4名）までとする
3. サービス
サービスの許容ラインをエンドライン全体とする
腰より低い位置で片手のアンダーハンドで打つ
4. 一発返しプレー
サービスの一発返しを（条件的に）禁止する
インディアカボールが斜線の範囲にある場合
一打で相手コートに返すと反則となる



5. 競技者の位置
前列 2 名、後列 2 名とする。（前列 3 名、後列 1 名ではありません）
6. ブロックによる接触は打数として数えない
7. 両手によるアタックレシーブ
一打目に限り両手によるアタックレシーブを許可する
（ブロックによる接触後も両手レシーブ可）平成 29 年度より J I A ルールに合わせた。
8. 後列競技者の制限
後列競技者のプレー制限（アタック・ブロック）はありません
9. パッシング・ザ・センターライン
インプレー中にラインオーバーすると反則となる
アタック及びブロックが決まりボールデッドになった後でも着地がラインオーバーすると反則となる（着地後のラインオーバーは OK）
10. 競技者が 3 名以下になった場合
止むを得ない理由により競技者が 3 名以下になった場合でも試合は続行できる

* アタックとは相手コートから飛んでくるインディアカボールすべてを指す。

当然、フェイントもアタックとみなす。

* フロントゾーンとはセンターラインとバドミントンのショートサービスラインまでの間を言う

今年度から新たに採用された競技規則

サービスまたはコートを選択。

ジャンケンで勝ったチームは サーブまたはレシーブ コートのいずれか一つを選択できる。
ジャンケンで負けたチームは残りを選択できる。

ブロックのワンタッチ後の両手打ちを有効とする。

ネットに引っかかり静止した場合はノーカウントとしてやり直しとする。
但し、4打目の場合は失敗とする。

ブロックの範囲

ネットから 30 C mの数字は残す。但しネット上の制限はなくす。

